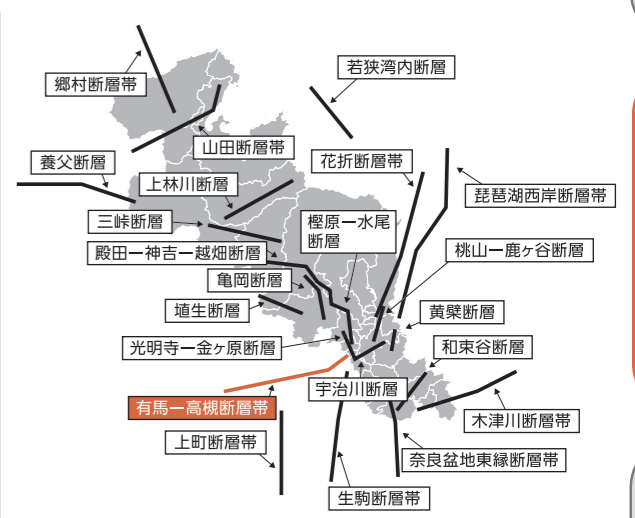
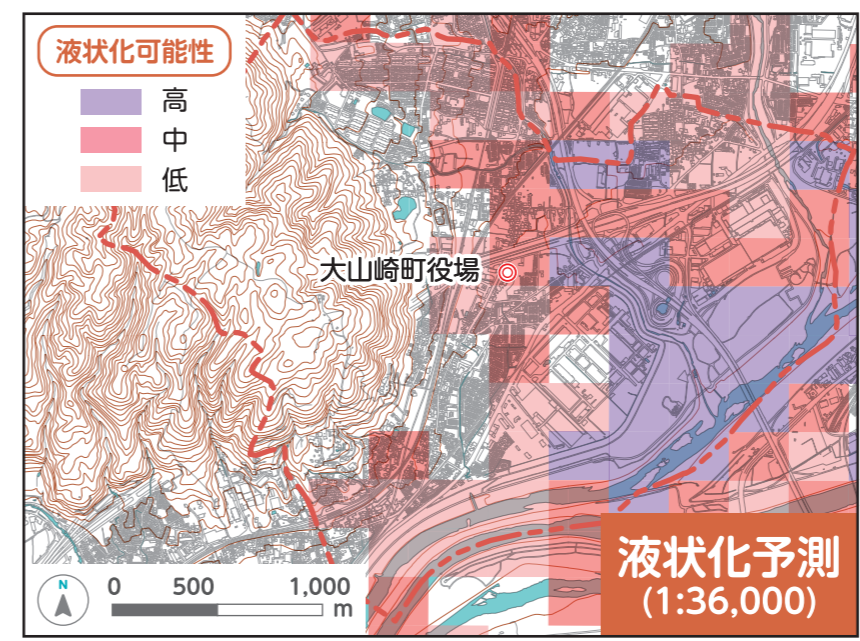


南海トラフ地震

南海トラフ地震は、静岡県周辺の駿河湾から宮崎県周辺の日向灘にかけてのプレート境界を震源域として、おおむね100～150年間隔で繰り返し発生してきました。最大クラスの地震が発生した場合、幅広い地域で激しい揺れを観測する可能性があるほか、関東地方から九州地方にかけての太平洋沿岸に10mを超える津波の襲来が想定されています。

地震被害総括表（南海トラフ地震）

最大予測震度	人的被害				建物被害			
	死者数(人)	負傷者数(人)	うち重傷者数(人)	要救助者数(人)	短期避難者数(人)	全壊(棟)	半壊・一部半壊(棟)	焼失建物(棟)
6強	—	80	10	30	—	110	—	80



京都府の断層

京都府は、府域への影響が懸念される22の活断層について地震被害想定調査を実施しています。そのうち、大山崎町において最も大きな被害を及ぼすと予測されているのが、「有馬-高槻断層帯」です。

地震被害総括表（有馬-高槻断層帯）

最大予測震度	人的被害					建物被害		
	死者数(人)	負傷者数(人)	うち重傷者数(人)	要救助者数(人)	短期避難者数(人)	全壊(棟)	半壊・一部半壊(棟)	焼失建物(棟)
7	39	305	77	295	3,203	1,412	1,574	235